

将来を見据えた今後5年間の中期経営方針 ～「事業団の決意」～

(取組期間:2019年度～2023年度)

1 私たちの決意

私たちは、県とのパートナーシップのもと、50年にわたり、高齢者、障害者、子どもたちに医療と福祉を提供し、多様な人材やノウハウ、安定した財務・労務管理のもとで、先導的な事業や質の高い利用者サービスを展開してきました。しかしながら、医療・福祉の制度や、地域のニーズが大きく変化するなかで、新たな課題への対応が求められています。人材の確保にも困難が増えています。
私たちは将来を見据えて、「これから私たちがめざす姿」を思い描き、新たに挑戦すること、また変わらなければいけないこと、変わらず続けていくことを今後5年間の経営方針として策定することとしました。

2 これから私たちがめざす姿

私たちは、①人々の高齢化に対応していくこと、②人々の孤立化に対応していくこと、そして③地域の元気が低下しないように取り組んでいくことが必要と考えます。
そこで、①多くの「パートナー」と地域の元気を支える取組を展開すること、②地域共生社会を先導する新たな拠点づくりに挑戦すること、③地域の幅広い人々の安全・安心につながる多様なサービスを提供すること、④人材の確保・育成等を通じた堅実な運営を継続することをめざし、活動を展開します。

私たちが展開する「4つの柱」

1 地域の元気を支える取組の展開

私たちの「パートナー」である地元の自治体、団体、企業、ボランティアの皆さんと連携して、施設を地域社会の一員として、そして、地域の安全・安心拠点として運営します

【主な取組内容】

- 事業団が事業展開する地域の実情・ニーズを踏まえ、「寺子屋プロジェクト」「コミュニティカフェ」「ギャラリー」等の地域交流を展開し、多世代交流ができるコミュニティを形成します
- 地元自治会や小学校PTA 等と連携して高齢施設等に「共生食堂」を開設し、子どもから一人暮らしの中高年、お年寄りが地域との関係性を維持できるようサポートします
- 多様なニーズに応えるため、介護保険外サービスも柔軟に展開します

2 新たな挑戦

時代のニーズを見据え、高度な専門性を発揮しながら、新たな課題や分野に積極的に挑戦します

【主な取組内容】

- 「総合リハビリテーションセンター」において、リハビリテーションの県域拠点としての役割を充実・強化するとともに、健康寿命の延伸プログラムの展開やオープンカフェなどの新たな取組を行い、地域の「元気・長寿・安心」拠点の形成をめざします
- 子どもから高齢者・障害者、地域住民との交流を実現する「くにうみウエルシ」を開設し、地域の安全・安心拠点をめざします
- 新「万寿の家」は、県下特養のトップランナーとしてロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域の安心拠点としてユニバーサルな施設づくりをめざします

3 多様なサービスの充実と展開

施設の利用者はもとより、地域の幅広い住民を利用者と捉え、利用者を元気にする活動を展開します

【主な取組内容】

- 住み慣れた地域や在宅でその人らしく最期まで過ごせるよう地域ニーズに即した「ラウンド・ケア・サービス」(「定期巡回随時対応型訪問介護看護」)を展開します
- 障害者の高齢・重度化に対応したグループホームを創設し、いつまでも地域・施設生活が継続できるよう取り組みます
- 利用者の高齢・重度化に対応するために、「リハビリケア」「口腔ケア」「看取りケア」等の利用者支援を充実します

4 堅実な運営の継続

法人経営の永続的展開をめざし、事業活動の点検と強化に努めるなかで、将来に向けた人材の確保・育成と拠点施設の再構築に取り組みます

【主な取組内容】

- 誰もが働きやすい職場環境を実現し、多様な確保対策を講じ、専門人材の確保・育成をめざします
- 老朽化が進む施設の建替や大規模改修を計画的に実施します
- 「中期経営方針」に基づいた効果的・効率的な法人運営を推進します